

湖山西人権教育だより

第24号
湖山西地区人権教育推進協議会
発行責任者 平家 裕一

相互の信頼とすべての人が安心して暮らせる地域のために



湖山西地区人権教育推進協議会
会長 平家 裕一

昨年4月に、障害者差別解消法がスタートしました。この法律は「不当な差別的取り扱い」を禁止し、「合理的な配慮の提供」を求めています。

こうすることにより、障がいのある人もない人も、お互いにその人らしさを認め合いながら共に暮らせる社会を目指しています。

不当な差別的取り扱いとは、障がいのある人に対して、正当な理由がなく、障がいを理由として差別することです。雇用やサービスの提供、入店を拒否するなど障がいがあることのみで差別することを禁止しています。

正当な理由があると判断される場合、障がいのある人にその理由を説明し、理解を得るよう努めることも大切です。この法律が出来るまでに、障がいの意見も取り入れられ、おこなわれていたことについて、この法の趣意に沿った対応や、さらなる充実が求められることになると考えます。

さらに12月には、「部落差別の推進に関する法律」が施行されました。部落差別の解消に向けた取り組みも、昭和44年の特別措置法のもと、地域改善対策を行い整備整備など環境格差は大きく改善されました。しかし今なお差別発言や差別待遇さらには、インターネットを利用した事案など、依然として差別事象が継続しています。

こうしたことが背景にあり、政府も差別事象が継続していることを認めこの法律が設置されました。湖山西地区人権教育推進協議会は、民主社会の構築と明るい地域づくりをめざすため人権の教育を推進してまいりましたが、今後とも継続して取り組んでまいります。



砂丘・宇賀前豆地町内会小地域懇談会の様子

「初めて知った!」「大切なことに気付いた!」人がつながる。小地域懇談会

「小地域懇談会」は、人権に対する正しい知識を深め、身近な人権問題に気づき、誰もが幸せに暮らすために私たちひとり一人に何が出来るかを考えていくことを目的として各町内会で開催されています。

今年度湖山西地区での小地域懇談会は26の町内会で実施されました。どの町内会もそれぞれの課題や取り組みたいテーマにそって進められ、参加者からは「身近な人権問題が多々あり、色々と考えさせられた」「認知症サポーター」を初めて知った」「町内でのつながりの大切さに気づいた」などの感想が寄せられ、新たな、気づき、の機会になったようでした。(関連記事を2・3面に掲載)



奥大南団地町内会



蓮池町内会

小地域懇談会 今年度は全町内で開催!!

人権講演会

演題 「あなたも今日から「あいサポーター」

「障がいを知り、共に生きる」

今年度の講演会は、障がいの有る人権にかかわりのある「あいサポーター研修」を行い約40名の方に参加していただきました。

講演の中では様々な障がいについて、事例を用いてわかりやすく説明されたDVDの視聴と、簡単な手話講座が盛り込まれ、大変有意義な講演会となりました。



手話講座の様子

あいサポーター研修を受けて

今回の講演会のDVDを見て、様々な障害の特性があること、障がいの有る方の困っていることを知りました。どんな手助けがどんな場面でするのか考えさせられました。が、ちょっとした思いやりでくらしやすいまちになっていくよう、これからどんどんあいサポーターの輪が広がっていくと思います。

推進員 小林 由香里

あいサポーターとは?

多様な障がいの特性、障がいの有る方が困っていること、必要な配慮などを理解して、日常生活において障がいの有る方が困っているときなどにちょっとした手助けをする意欲がある方であればどなたでもなることができます。(特別な技術の習得は不要です。)

障害者差別解消法って?

正式名称は「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律」で、「不当な差別的取扱い」と「合理的配慮をしないこと」が差別になります。障がいの有る人もない人も互いにその人らしさを認め合いながら共に生きる社会をつくることを目指しています。

人権現地学習 平成28年12月12日

「JUNON」について考えてみましょう

八頭町にある宿坊「光澤寺」を訪ね、川上巧氏による「いやし地蔵づくり」もしくは「写経」を体験しました。午後からは住職 宗元英敏氏による「「こころの授業」と題した法話を聞かせて頂きました。

JUNON JUNON

八頭町の光澤寺を訪ね「写経」もしくは「いやし地蔵づくり」のどちらかを体験して住職さんの話を聞きました。私は「いやし地蔵づくり」を体験しました。川上先生に「いやし地蔵」を始めのきっかけの話を聞き多くの支えに感謝、健康を願いました。

推進員 永見 洋子



いやし地蔵づくり



住職さんによる「こころの授業」





小地域懇談会のようす

～26町内会の取り組みの内容について～

内は参加者の感想



小地域懇談会 全町内開催!!

■大学前町内会 10/16
■堀越・砂浜町内会 11/19



近所付きあい、独居の高齢者世帯、地域とのつながりなどに焦点を当てた内容です。「排除」や「孤立」を生み出す社会ではなく、互いに認め支え合える「包み込む社会」とは何かを考えます。

梅探

○地域のつながりの大切さを感じ、人はひとりでは生きていけないのだと感じた。
○町内にある施設を会場に行ったので、入居者の方と意見を交わすことが出来たことがよかった。



■大寺屋町内会 5/15

「つなげよう やさしさの形、広げよう あいサボートの輪」をテーマにDVDを視聴し、「障害者差別解消法」の施行をきっかけに障がいのある方が暮らしやすい社会とは何かを地域の方に考えてもらいました。



○色々な障がいのあり方をしることができた。
○地域住民としてどう配慮していけばいいのかが、とてもわかりやすく参考になった。

■砂丘・学園前町内会 11/6



地域社会の結びつきが弱まる中、近隣同士であっても無関心、無理解によって起こる様々な人権問題を取り上げた作品です。「一人一人の力」が低下した地域の「再生」につながるこの大切さが描かれています。

親愛なる、あなたへ

DVDを視聴後、話し合いが行われました。
○住民同士のつながりについて考えさせられた。
○声掛け、あいさつの大切さに気づいた。
○町内の事に役員だから参加している感じがするので、自発的に参加しないといけないと思った。
○DVDの内容がよかった。もっとたくさんの人に見てほしい。
○世代間交流は大事なことだと感じた。



茶屋西町内会



白鳥町内会



湖北町内会

鳥大南団地町内会	7
茶屋西町内会	9
北四丁目町内会	9
湖東ヶ丘町内会	9
あけぼの町内会	10
蓮池町内会	10
白鳥町内会	11
うぶみヶ丘町内会	11
市住3棟	12
湖山西地	12
4・5・6・7棟	12
かがやき町内会	12
新田町内会	1
湖北町内会	2
市住1区	2
白浜飛行場町内会	2
公園北町内会	3
塔ノ角町内会	3



認知症サポーターって?

認知症サポーターは「なにか」特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく見守る「応援者」です。

認知症サポーターに選ばれるオレングリングは「認知症の人を応援します」という意思を示す「目印」になります。

ここから、歩き始める

認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる、介護をめぐる物語と生きる姿が、介護を拒むことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなる教材です。



DVDを視聴後、鳥取市推進員の方の講話を頂いたり、話し合いを行いました。

- 「助けて」と言える町内、また「助けて」を受け入れられる町内でありたいと思った。
- 自分の事として受け止めることが出来るテーマだったのでよかった。
- 参加者の方からもう少し意見が出てよかったと感じた。
- 一人で参加したが、子どもと一緒に来て考えた内容だった。
- 町内でのつながりの大切さや、今後どう行動するべきか、前向きに考えられる機会になった。
- 認知症の人が家族の中にいるのは、助すかしい事ではない。地域の人達にその事を知らせる力になってもらえるように正しく、理解することが重要。
- 認知症サポーターやオレングリングの事を初めて知った。
- 認知症になっても、相手の意思を受け入れて、寄り添うことの大切さを知った。
- 自分だけで抱え込まず、地域社会全体で支え合う環境をつくるのが大切だと感じた。
- 経験者の方からの参考になる意見が聞けて良かった。



市住1区



市住3棟・湖山西地4-5-6-7棟



北四丁目町内会

平成28年度 湖山西地区人権教育推進協議会 人権啓発推進員

- 永見 洋子 さん(白鳥)
 - 小林 由香里 さん(RCK)
 - 新 朝子 さん(北四丁目)
 - 石田 昇三 さん(あけぼの)
- ★一年間お疲れ様でした★

人権啓発推進員活動内容

- 各町内会小地域懇談会の進行
- 湖山西地区の各研修会・講演会の運営
- 湖東フロッグ研修会への出席
- 鳥取市・県主催の研究集会や研修会への参加
- 人権啓発だより編集・発行

会員・自治会全体研修会

平成28年6月4日出 湖山西地区公民館

地区人権協議会、各町内会長、各町内会の人権推進協力員58名を対象に、小地域懇談会開催に向けての事前研修会を行いました。当日は、「ここから歩き始める 高齢者の人権」をテーマに、



DVDを視聴後、グループに分かれて意見交換を行い最後に鳥取市人権教育推進員の田中秀幸氏・権垣郁子氏にご指導を頂き参加者一同熱心に人権問題に取り組みました。